

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Purpose

人と社会、環境との共生と調和を実現する。不動産価値の創造を通じて、人と社会に豊かさを育む。

② 中長期の経営戦略

1. 物流開発事業の立ち上げ

2023年9月期～2025年9月期の第1フェーズで、物流開発事業を新たに立ち上げ、事業ポートフォリオを拡大する。

2. ファンド事業の拡大

ファンドマネジメント事業を拡大し、収益源の多角化を実現。第2フェーズで本格展開予定。

3. 収益物件ポートフォリオ構築

自己保有収益物件のポートフォリオを構築し、インカムゲインによる安定収益基盤を強化する。

4. 金融・国際・DX推進

新たな資金調達手法、アジア圏中心の海外顧客基盤拡大、DXによる経営可視化を促進。

③ 対処すべき課題

① 事業規模の拡大

- ・ マンション・オフィス開発に加えて、物流開発やファンドマネジメント事業への参入。
- ・ 収益不動産投資やコーポレートレンディング事業を通じた事業拡大。

② 建設コスト対応

- ・ 建築資材高騰や人員不足への対応が必要。
- ・ 施工性を配慮した企画設計とプロジェクト進捗管理の徹底。

③ 安定収益基盤構築

- ・ 開発利益中心から、インカムゲインによる安定収益へのシフト。
- ・ 金利上昇や資金調達困難化への対応として、財務基盤健全性の確保。
- ・ 優秀人材の確保・育成、内部統制強化、DXによる経営可視化の推進。

面接で使えるポイント

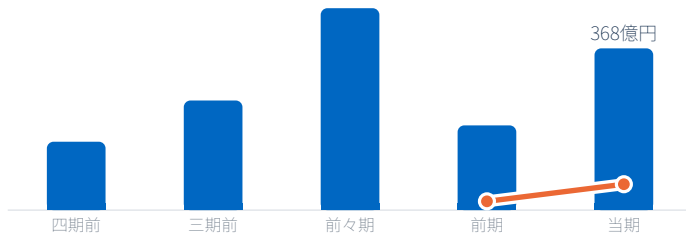
- ・ 1999年創業から25年間、都心部デザイン性高いレジデンス開発で確立したブランドを基盤に…
- ・ 2023年9月期～2025年9月期の第1フェーズで、金融・国際・DXという3つのキーワードを掲げ…
- ・ 企画開発力を活かしつつ、収益不動産投資を通じたインカムゲイン確保で、安定的経営基盤の構築を推進。

株式会社アスコット

不動産業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 9月末日 | ...

EDINETコード E21391

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
368億円

営業利益率
16.0%

財務健康度
56点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 61.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
933万円

平均年齢
43.7歳

平均勤続
5.4年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社アスコット 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

